

報告事項 ア

件名	博物館・美術館事業の概要について
提出理由	県立博物館・美術館の事業の状況と今後の取組について、別紙のとおり報告します。
概要	<ol style="list-style-type: none">1 県立博物館・美術館について2 令和2年度における博物館事業の実施状況3 今後の博物館施設の取組

(文化資源課)

県立博物館・美術館について

運営理念
(共通)

各館ごとの専門分野を生かした資料の収集・保管
その特色を踏まえた総合的な調査研究

埼玉の地域的特性を明らかにし、
その成果を展示公開・情報発信

県民各層の心豊かなくらしと
新たな文化の創造に寄与

2

	歴史と民俗の博物館 (さいたま市)	さきたま史跡の博物館 (行田市)	嵐山史跡の博物館 (嵐山町)	自然の博物館 (長瀬町)	近代美術館 (さいたま市)	文書館 (さいたま市)	【※指定管理】 さいたま文学館 (桶川市)	【※指定管理】 川の博物館 (寄居町)
								
【分野】	歴史・民俗 美術工芸	考古	考古	自然	近代美術	記録資料	文学	自然
【テーマ】	埼玉における人々の暮らしと文化	古墳時代の埼玉	中世の武士と城館跡	自然と人との共生	美術を通じた新たな価値の発見	記録資料の保存、活用、伝承	文学の振興、研究、文学資料の収集	川と人々の暮らしの関わり
【特徴】	埼玉の歴史と民俗を広域的、多角的に扱う県内唯一、最大規模の人文系総合博物館	埼玉古墳群の調査研究をはじめ、県内の史跡や遺跡、考古資料に関する総合的な博物館	菅谷館跡や中世城館跡などの貴重な文化財を次世代に継承する博物館	埼玉の自然と人の共生、環境保全等のテーマを扱う県内唯一の自然系総合博物館	広い視野で、埼玉を核とした近現代美術を収集、保存、研究、展示する美術館	歴史的・文化的価値が高い行政文書、古文書等の資料を収集し、保存・活用する施設	埼玉ゆかりの作品や関連資料を扱い、文学の振興を図る県民の文学活動の拠点施設	川と人々の暮らしとの関わりをテーマとした体験型博物館
【代表的な収蔵資料】	国宝 短刀 景光作 	国宝 金錯銘鉄剣 	享徳二年銘 阿弥陀一尊種子板碑 	パレオパラドキシア 大野原標本 	クロード・モネ 《ジヴェルニーの積みわら、夕日》 	重要文化財 埼玉県行政文書 	永井荷風 ふらんす物語 	日本一の大きさ(直径24.2m)を誇る大水車 

令和2年度における博物館事業の実施状況

R2年度の各館の事業計画

○展示事業

歴史と民俗の博物館 特別展「武蔵国の旗本」「青天を衝け～渋沢栄一のまなざし～」

さきたま史跡の博物館 企画展「盾持人 埴輪の世界」 最新出土品展

嵐山史跡の博物館 企画展「実相 忍びの者」

自然の博物館 特別展「埼玉記念物100年－埼玉の記念物」

近代美術館 企画展「上田 薫」「コレクション－4つの水紋」

※ その他各館でそれぞれの特色を生かした展示を企画

○普及事業

講座 講演会

大学教授等を招いてのシンポジウム、講演会等の開催

例) 歴史講座「武家社会の成立」(嵐山)
アフターファイブ文学講座(文学館)

体験事業

ものづくりや装着等のワークショップの実施

例) 藍染ハンカチ、絵馬(歴民)、アート体験(近美)
鎧・小桂着装(嵐山)、昆虫観察会(自然)

学校との連携

授業協力、学校見学の受入れの実施

例) ミュージアム・キャラバン(近美)等の出前事業
高校生ボランティアの受入れ(嵐山)

緊急事態宣言による臨時休館

2度にわたる臨時休館

①令和2年2月～5月

②令和2年12月～令和3年3月

新型コロナウイルス 感染症の感染拡大

開館時の利用の制限

感染防止対策の徹底

- 消毒・検温
- 利用時間の制限
- 入館人数の制限

各館事業への影響

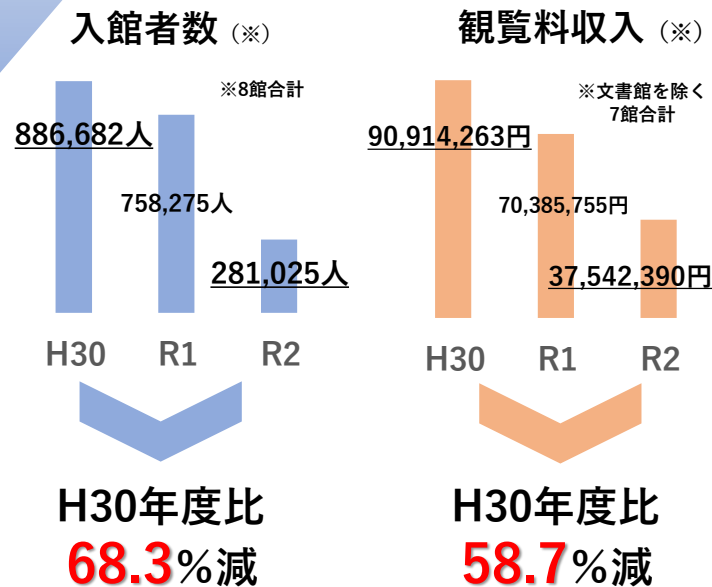
○展示事業の中止・縮小等

- ・中止：特別展「武蔵国の旗本」「銘仙」(歴民)
- ・会期縮小：企画展「上田 薫」(近美) 他9本
- ・オリパラ展示事業：R3年度に延期

○普及事業の中止・縮小

- ・各種講座、体験事業等の中止・縮小
- ・対面による展示解説の中止
- ・ボランティア活動の休止 … 等

○入館者数・観覧料収入の減少



今後の博物館施設の取組

令和3年度の主な博物館の展示事業

歴史と民俗の博物館

企画展「太平記絵巻」

令和3年7月17日(土)～9月5日(日)



軍記物語「太平記」を華麗な絵巻作品に仕立てた現存唯一の作品を17年ぶりに展示・公開

さきたま史跡の博物館

企画展「運ぶ - 埼玉古墳群とモノの動き -」

令和3年7月10日(土)～9月12日(日)



埼玉古墳群から出土したモノ等を紹介し、その動きから当時の河川交通を推測

嵐山史跡の博物館

企画展「実相 忍びの者」

令和3年8月7日(土)～9月20日(月・祝)



戦国時代の「忍び」の実態を、考古資料と歴史資料から明らかにした企画展

自然の博物館

企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」

令和3年7月3日(土)～10月17日(日)



ジオパーク秩父の主要な見どころを取り上げ、楽しみ方を紹介

近代美術館

企画展「ボイス+パレルモ」

令和3年7月10日(土)～9月5日(日)



第二次世界大戦以後の最も重要な芸術家の1人のボイスと、ボイスに師事したパレルモの作品を紹介

博物館への興味関心を高める新たな取組

○ 地域との連携

- 「古墳を活かす、古墳でつながるプロジェクト」(さきたま)
- ・デザイン公募によるグッズ開発
- ・アートプロジェクトの開催 等

○ ICT等の活用

- ・VR動画による天然記念物の紹介(自然)
- ・古墳や考古資料(埴輪)の3次元モデルの作成・公開(さきたま)

アートプロジェクト
(車の中から古墳を鑑賞)



コロナ禍での事業の工夫

○ SNSを通じた企画展や収蔵資料の公開

- ・おうちでミュージアムの推進(例)「武蔵国の旗本」「おうちで「銘仙」」(歴民)
- (参考) 令和2年3月～令和3年6月(※)のアクセス数 64,826件(※6月16日まで)

○ ウィズコロナを踏まえた今後の活動

- 「新たな日常」の視点による今後の博物館施設の事業・活動の研究・検討
- ・利用制限下でも楽しめる企画・イベント
- ・GIGAスクール構想に基づく出前講座(博学連携)